

ウッドデッキ材の施工方法

施工について

【色幅と経年変化について】

ブラジリアン・イペ及びセランガンバツは天然木のため、色幅があります。



また、施工直後より紫外線などの影響を受けて、徐々に銀白色に変化して行きます。特に直射日光の当たる外部の場合は顕著ですが、耐久性などの品質面には全く問題ありません。

注意

カタログの写真は印刷のため、実物とは異なります。ぜひショールームにてサンプルをご確認ください。

但し、現物サンプルは木材の一部ですので、施工例写真等で仕上がりイメージを充分ご確認ください。

※ブラジリアン・イペ及びセランガンバツは施工後塗装する必要はありませんが、お好みによって塗装することができます。塗装剤は、屋外用の油性木材保護含浸塗料をお使いください。

【根太ピッチについて】

◇デッキ材の荷重：800N/㎡程度の場合

下記の表を参考にして、適切な根太ピッチをとってください。

ブラジリアン・イペ	セランガンバツ	マラサントゥーバ
20×105 mm	20×90 mm	20×105 mm
約530 mm	約510 mm	約430 mm

【デッキピッチ（デッキ材間のすき間）について】

◇目地幅を5mm以上とってください。天然木のため、施工後伸縮します。

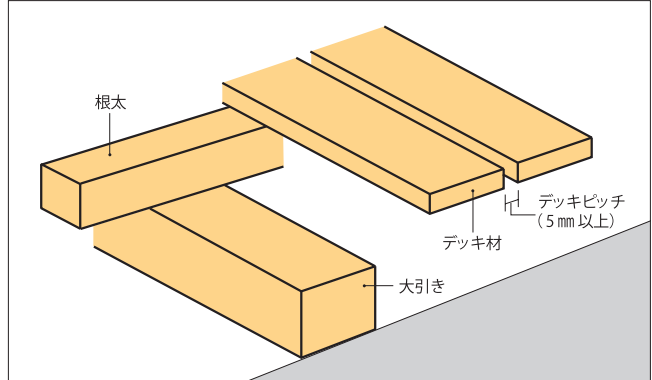
【デッキ材の長さについて】

◇長さは、例えば1800mmであれば1800～1850mm程度のバラツキがあります。現場にてカットしてお使いください。

◇出荷時、ヒビ割れ防止のため、材料端部にろうを塗っている場合があります。

【湿気のたまらない基礎造り】

◇デッキの基礎には勾配をつけ、雨水などがたまらないように、また常に自然換気をして、デッキ材の劣化を防いでください。



※デッキの基礎には勾配をつけ、雨水がたまらないようにしてください。

【在庫と納期について】

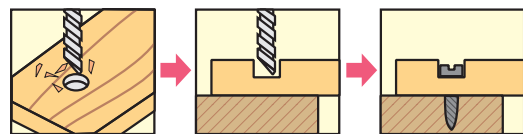
◇天然木材で輸入品のため、一時的に品切れを生じることがあります。特に大量受注の場合は、在庫状況にもよりますが、同一の長さでの納品が困難な場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【ヤニ目・ひび割れ材などについて】

◇現地にて最善の検品を行なっていますが、まれにヤニ目やひび割れ材などが混入することがあります。その際は恐れ入りますが、目立たない場所へ施工していただけますようお願いいたします。

【ビス止めの際の注意点】

◇ビス止めの場合は、ビス頭分をドリルで穴開けします。貫通しないように注意してください。



【施工後の安全のために】

◇素足での歩行は避けてください。

注意点

- ブラジリアン・イペ及びセランガンバツは、条件により防腐処理や材質保護のための塗装をしてください。天然木でヤニ・油を含んでいるため、施工後、降雨によりヤニ・油が雨といっしょに流れ出て下地などを汚染する恐れがあります。特に壁面など垂直に施工する場合や、ベランダなどに根太、大引きを使わずに施工される場合は、塗装することをおすすめします。
- このヤニ・油のおかげで撥水効果があり、外部での使用に耐えられるのです。一方で施工後にヤニ・油が雨の水分等とともにデッキ材表面に黒い斑点状に現れることがあります。しかし、経年変化で斑点は目立たなくなっていきます。
- セランガンバツには特有のピンホール（小さい穴）があります。なるべくピンホールの入らない原木を選んではおりますが、多少は入りますのでご容赦ください。
- ウッドデッキ材を門扉に使用するなど、本来の使用用途と異なる使用は避けてください。ひび割れなどの不具合が発生することがあります。